

電子書籍が安心して  
購入でききる仕組みとは？

みなさん、電子書籍を安心して  
買えますか？



「運営会社がサービスを終了したら、書籍  
の再ダウンロードができなくなるので、  
実際の書籍とは違って気軽に買えない  
という方も多いのではないですか。」

電子書籍を大量に買っても、ある日  
突然運営会社の都合により  
再ダウンロードできなくなったら…

お客様各位

都合により、当サイトは  
○月○日をもって運営を  
終了する事になりました。

ご購入されました書籍に  
ついては、今後再ダウンロード  
はできなくなります。

どうぞご了承ください。

楽天がRABOOという電子書籍サービスを  
急遽終了する事になりましたが、



救済措置として楽天ポイントやクーポン  
が貰えるものの、書籍購入全額分の救済  
とはなりませんでした。

eBookJapan代表取締役社長  
小出 齊氏

「著者や出版社が電子書籍に対して積極的になり、優れた端末も次々と発売されて、電子書籍業界が飛躍する条件が整いつつあるというのに、電子書店が閉じると購入した電子書籍が読めなくなるのでは、その勢いが削がれてしまいます。業界の信頼を失墜させてはならないとの思いで、当社がサポートすることといたしました」

(ebookjapanプレスリリースより引用)

ありがたい事に、本来は関係ないはずのイーブッククジヤパンが、「電子書籍を安心して買えるように」と、さらに追加の救済措置を講じてくれましたが、こっちも補償内容に制限があります。

電子書籍にDRM(コピーコントロール)がかかっている事自体は、私は問題ないと思っています。



以前描いた「個人情報つきPDFの危険性」の漫画でも指摘していますが、コピー防止システムは作者だけでなく消費者にとっても、ある意味「助かる」のです。



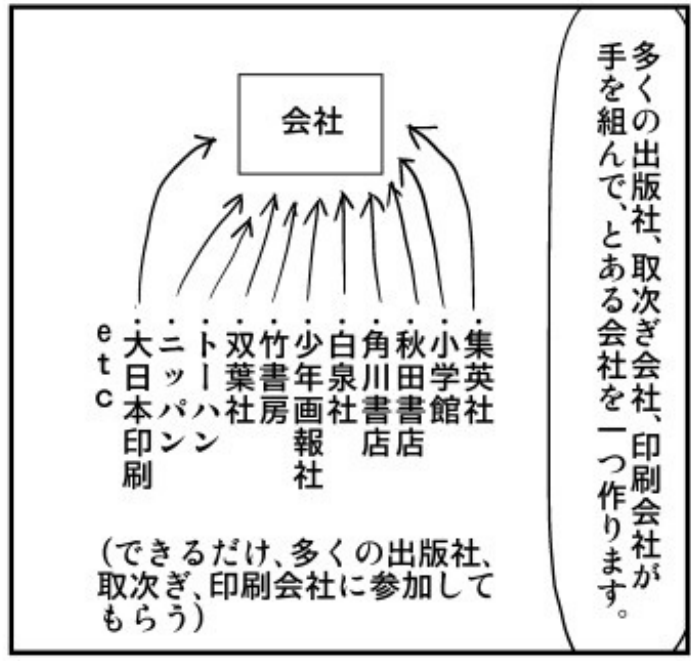
最近ではアカウント式で購入情報が管理され、購入した書籍が手持ちのPCやスマホ、タブレットなど、複数の端末で読めるようになっていきます。

そのため、使い勝手の面では、DRMがかかっていても問題無くなってきました。

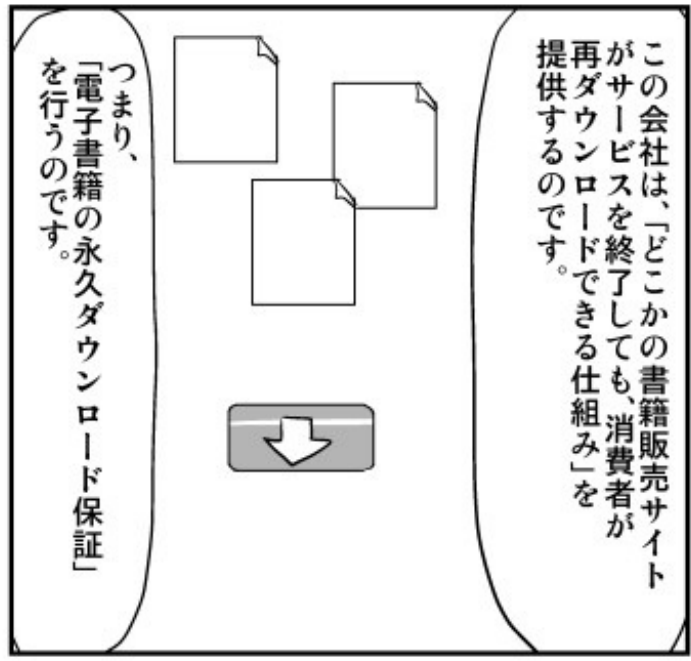
「運営会社がサービスを終了したら書籍の再ダウンロードができなくなる」……この点がDRMあり電子書籍の大きな欠点なのです。

これさえ無ければ……

じゃあ、「この欠点を解消する仕組み」を、出版社、取次ぎ会社、印刷会社が手を組んで作ってみてはどうでしょうか？



多くの出版社、取次ぎ会社、印刷会社を手を組んで、とある会社を一つ作ります。



この取り組みに参加する電子書籍販売  
サイトでは、今までと同じ「通常版」とは  
別に、「割ほど値段が高い」「永久DL保証版」  
を同時に売ってもらいます。



\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

通常版: 400円  
永久DL保証版: 440円

永久ダウンロード保証版とは？

注・通常版を買った書籍は、  
後で差額を払えば永久DL保証版  
にグレードアップできるように  
する事

あらかじめ、作者や出版社には、  
書籍ごとに永久DL保証版を出してい  
かどうかを聞いておきます。



了承が得られた本については、  
「電子書籍データ(DRMのかかっていない  
やつ)」のコピー(高解像度データ)を  
提出してもらい、永久ダウンロード保証  
会社はそのデータを保管します。

消費者がもし「永久DL保証版」を  
購入した場合、その購入情報は  
今までのように電子書籍販売サイトが持つ  
だけでなく、永久ダウンロード保証会社  
の方にも渡すようになります。

このユーザーは  
こういう本を買い  
ました。でも記録  
しといてね。



電子書籍販売サイト

永久ダウンロード保証会社



一応、個人情報漏洩を考慮し、氏名と住所情報は渡さず、メールアドレスと購入書籍情報だけ渡すように。

ニュース

永久ダウンロード保証会社のサーバーがハッキングにあい、購入情報が漏洩しました。

↑ 名、住所情報を渡さなければ、こういう事が起きても問題ない

アダルトな本を多く買う人は、「別のところにも購入情報を渡すの？そっちで漏れたりしない？」と心配する人も出てくるだろうから、氏名と住所は伏せて渡すと。

書籍販売サイトから漏れたら意味ないけど...

もし書籍販売サイトがある日都合によりサービスを終了しても、永久D/L保証版を購入した書籍については...

書籍販売サイトが無くなったけど、うちからいつでも再ダウンロードできるから大丈夫だよ



永久ダウンロード保証会社

\*PCやスマホ、タブレット用のビューワーを提供する事

永久ダウンロード保証会社が用意したサーバーから書籍データをいつでも再ダウンロードできるようにするので、(こっちゃんもDRMがかかっているやつを)

多くの出版会社、取次ぎ会社、印刷会社が手を組んで運営している会社なら、よっぽどの事が無い限りこの永久D/L保証サービスが終了するという事は起こりえないでしょう。



この仕組みに参加している電子書籍サイトでは、今後は消費者は安心してどんどん電子書籍を買えるようになるのです。

電子書籍販売サイトとしては参加した方が消費者が活発に書籍を買うようになり、売り上げがアップするので、この取り組みに参加するところが大半となり、

・取次ぎ・運営して安心しどり…  
・出版社・運営がどに  
・出版会社が保証するようになり  
・印刷会社が保証するようになり  
・多くの印刷会社から電子書籍を電



電子書籍販売サイト

電子書籍の売り上げが大幅にアップしたぞ

作者と出版者の了承が得られた書籍について、ほとんど「永久D.L保証版」を追加していく事になるでしょう。

・作者や出版社にとってはDRMありのおかげで不正コピーが防止される

・読者にとっては、書籍販売会社が運営を停止しても、問題なく再ダウンロードができるようになる。

(永久D.L保証版を買った書籍のみ)

・永久ダウンロード保証会社の運営に参加している出版社、取次ぎ会社、印刷会社には分配益が入る

(電子書籍販売が今後活発になっていくが、そのおこぼれに自分らも預かりたいなあ)と思っていて取次ぎや印刷会社にはありがたい話では?)

こんな感じで、それぞれにとって益があるシステムだと思おうのです。



見返してみると漫画内できちんと説明しきれいていませんでしたが、「通常版」に比べて「永久ダウンロード保証版」は一割ほど値段を高くしていますが、この差額については電子書籍販売サイトが貰うのではなく、永久ダウンロード保証会社の方へ渡すようにします。

「通常版」から「永久ダウンロード保証版」へのグレードアップ代についても同様に。

この差額益を、永久ダウンロード保証会社は再ダウンロード用のサーバー運営コストに当てたり、諸々の費用に使い、残りを参加企業へ分配する事にします。

電子書籍市場が活発になると、おそらく毎年数十億円の金が入ってくる事になるでしょう。

\*\*\*\*\*

漫画内で書籍の購入画面のシーンで「永久ダウンロード保証版とは?」と書いてるところがありますが、あれをクリックすると、客が永久ダウンロード保証版の説明を見れるようにします。

「通常版は、サイトが存続する限り（あるいは一定期間まで）再ダウンロードできますが、永久ダウンロード保証版は、出版会社・印刷会社・取次ぎ会社の連合が作った外部型の保証サービスで、もしサイトが無くなる場合も、継続して何十年も書籍データを再ダウンロードできます。」みたいな感じで。

\*\*\*\*\*

一部の電子書籍販売サイトでは、現段階でも「永久ダウンロードできます」みたいに宣伝してるところもありますが、あくまでも「サイトが存続してる間は」であり、実際はそのサイトが閉鎖されると再ダウンロードできなくなります。（全然「永久」じゃない.....）

「アマゾンや角川書店など、大手の電子書籍販売サイトで買えば、よっぽどの事が無い限りサービスを終了しないだろう。」と思う人もいるかもしれませんが、浮沈の激しいこの業界は、10年後、20年後、30年後先は今大丈夫な大手もどうなってるかわからないというのが実際のところです。

書籍販売サイトとは別に、いろいろな企業が参加する「外部型のダウンロード保証会社」を用意すると、もし書籍販売サイトが無くなる場合も再ダウンロードは今後も継続してできるようになり、消費者は安心してどんどん電子書籍を買えるようになるわけです。

\*\*\*\*\*

この外部のダウンロード保証会社については、出版業界とは関係ないところも作れるでしょうが、やはり出版に関わる企業の連合で是非作ってもらいたい。

わけのわからないところが一社あるいは数社で作っても、そういうところは「いつか無くなってしまふのでは?」と消費者に思われ、安心して電子書籍を買えません。

できるだけ多くの会社が参加する形で永久ダウンロードが保証されれば、たとえいくつかの会社が倒産などしても、サービスは継続されるのです。

また、電子書籍販売が活発になると、実際の製本の売れ行きが落ちていき、取次ぎや印刷会社は業績が落ち込んでいくでしょうが、こういう形で電子書籍販売に彼らは関わる事にすれば、今まで出版業界を支えてきてくれた取次ぎや印刷会社にも多少利益がまわっていくんじゃないかなあと思います。  
(全部の会社はカバーできないし、分配益も参加企業が増えるほど減っていくでしょうが.....)

\*\*\*\*\*

注意点としては、もし出版社が潰れた場合も、この保証サービスに参加した書籍に関しては配信中止は絶対せず、そのまま配信を継続できるよう、この点についてはあらかじめ出版社・作者に契約内容を確認しておいてもらう必要があります。

「作者の意向で配信中止」とかいうのも不可という契約にします。

盗作などの問題があって配信中止をせざるをえない書籍のみ再ダウンロードは停止できますが、その場合は代金は読者に返金する事。

\*\*\*\*\*

また、これは難しいかもしれませんが、永久保証版を買った場合、その仕組みに参加している別の電子書籍販売サイトからも同じ書籍をダウンロードできると消費者はより色々な端末が使えるありがたいかも。

例えば、アマゾンのkindle端末で永久保証版を買ったら、楽天のkoboの方でも追加の金を支払う事なく、その書籍をkoboにダウンロードできるようにするとか。

(まあ、これは実現しなくてもいいかな?)

「参加している電子書籍サイトなら、どこからでも再ダウンロードできるようになる」が実現すると、永久ダウンロード保証会社が運営するサーバーの負荷をある程度減らす事ができ (=使用するサーバーの台数も減らせる)、運営コストを下げる事ができるようになるのです。

\*\*\*\*\*

当たり前ですが、永久ダウンロード保証会社のサーバーから書籍データをダウンロードできるとしても、「ビューワー」も同時に用意しないと、DRM付の書籍データの配信というのはできません。これについては、既存のビューワーをライセンス契約して使う事になるでしょう。

電子書籍が安心して買えるようになる仕組みとは？

<http://p.booklog.jp/book/59918>

著者 : yanyaooo

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/yanyaooo/profile>

著者ブログ : <http://hibinoohanasi.seesaa.net/>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/59918>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/59918>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのパパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブックログ